

リフレッシュ放牧試験で長期不受胎牛の受胎促進機序を解明

要 旨

平成14年度から府内の肉用繁殖農家が所有する長期不受胎牛を借り受けて、放牧により牛の繁殖機能を回復させ、受胎促進効果をみるための試験を実施しています。5年間の成績(累計)は47頭中38頭が受胎(受胎率80.9%)しました。

今年度は特に血液の動態を確認するために、11頭で試験を開始しています。



じゅんち

スタンション馴致

放牧中の発情牛は枠場(スタンション)に固定し、人工授精を行う必要があるため、放牧するまでの間、牛舎内でその慣らしを行います。

じゅんち

放牧馴致

青草を食べることや天候等の自然環境に慣れさせるため、約2週間牛舎に隣接する放牧地で昼間だけ放牧を行います。



京都府畜産技術センター
碓高原牧場

